

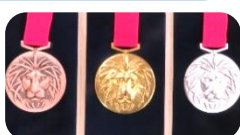


圧巻!人間ベンチプレス

# SAKURA II



## 「未来授業 ようこそ先輩」



### 村上輝選手 ありがとうございます!

12日(月)、「未来授業 ようこそ先輩」の講師としてお招きした村上輝選手は、旧宮川中学校陸上部の卒業生です。今年度7月22日に行われた全日本選手権男子砲丸投で日本歴代8位タイの18m29の記録で見事優勝し、伊勢市長への表敬訪問もされました。今後の目標として、**日本人初の19m突破とパリ五輪への出場**を掲げておられます。

村上選手は、「とちぎ国体三重県選手団」の旗手も務められました。信頼の証の役目です。気さくに様々なお話を聴かせていただきましたが、「筋肉痛は成長の証拠だからうれしいんです!」と語ってくださったことも印象深かったです。さすが、**日本一のアスリート**です!

また、全日本選手権の「金・銀・銅」の立派なメダルも代表生徒がかけさせていただきました。7.26kgの砲丸の重さにも驚きました。

お忙しい中ご来校いただき、全校生徒がとても有意義な時間を過ごさせていただきました。**さらなるご活躍をお祈りしています!**

### 【投てき種目との出会い】

投てき種目と出会ったのは中学生になってから。最初は先輩たちの様子を見て練習が楽しそうだったからだったのだそうです。走るのが苦手で、トレーニングをさぼろうとして、コーチに見つかり、さらに厳しい練習メニューになってしまったというエピソードも聴かせていただきました。練習の積み重ねは大事です!

### 【人生の分岐点】

高校生のとき、常にライバルとして競り合ってきた選手が突然亡くなるという悲しい経験をされました。そのときに、ライバル選手のご両親から、息子の分も砲丸投の世界で頑張してほしいという話を聞き、精いっぱい活躍することを決心されたそうです。大学に進学し、さらにパワーアップして今に至ります。

### 【後輩のみんなへ】

「全日本選手権優勝は目標を立て、あきらめずに練習を続けてきたからこそ実現したこと。支えてくれる人への感謝の気持ちを忘れないことが大事。気持ちに伝える一番の方法は結果を出すことだと思う。」と村上選手は語っていただきました。この出会いが生徒のみんなにとって大切な分岐点になると信じます!



## 人権フォーラムに参加

12月7日(水)に、「伊勢市子ども人権フォーラム21(中学生)」が行われました。今年度もコロナ禍にあるため、オンライン開催となり、市内中学校11校から6名ずつ代表者が参加しました。

人権作文の応募作品の中から選ばれた2編の執筆者が読み、その内容について各校の生徒が共感したり、自分の体験と重ねて考えをもったりしたことを画面越しで積極的に意見交流しました。

### <代表者のみんな>

3年 島谷羽乃依さん 林 柚果さん  
2年 勝 菜々花さん 辻原 実蘭さん  
1年 齋藤 美羽さん 森 謙心さん

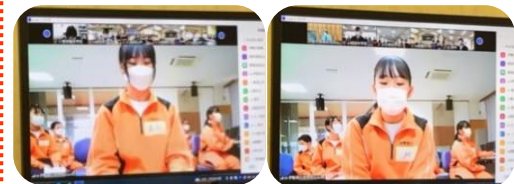


伊勢宮の代表6名全員が自分の意見を堂々と述べることができました。この後は、学年集会などで報告会や意見交流会の機会をもつことになります。

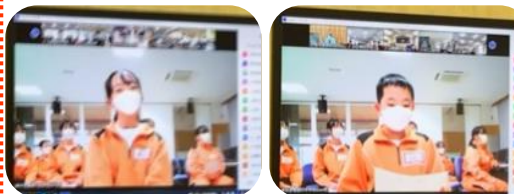
人権について気付き、考えたことや学んだことを自分の言葉で伝え、つながり合うことにこそ値打ちがあります。思春期の多感な時期を過ごしている中学生のみんなだからこそ、磨かれる感性があると思います。この機会を大事にしてほしいです。



事前指導の様子



当日の発表の様子



## 「みかん祭」作品展示開催!

2日間の個別懇談会に合わせて、「みかん祭」作品展示の部を開催しました。

1年生にとっては中学生になって初めて目にする先輩たちの作品です。どのように映っているのでしょうか。見応えのある作品がたくさんあります。校舎の特色を生かしての展示方法です。

各学年の美術作品は光に透けて美しく映えています。書写作品もユニークです。1年生は基本の題材で、2,3年生は自分が選んだ言葉を題材にして仕上げています。

他にも家庭科・技術科の作品も展示されました。「ものづくり」の楽しさを感じます!

